

3月14日～20日は 日光市男女共同参画週間です

市は、平成20年3月15日の「男女共同参画都市宣言」以降、男女が共に参画できる社会づくりに向けてさまざまな取り組みを進めています。

この男女共同参画都市宣言を記念し、毎年3月に「日光市男女共同参画週間」を設けており、今年は3月14日(月)～20日(日)がその期間にあたります。

広報にっこう2月号で、日光をより魅力あるまちにするためには、男女がともに、職場で、地域で、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現することが求められていることを紹介しました。そのためには、皆さん一人一人の取り組みが必要です。この機会に、男女共同参画について考えてみませんか。みんなで一緒に活力ある日光市を築きましょう！

活力ある
日光市を
築こう！



くわしくは

人権・男女共同参画課 男女共同参画推進係 ☎21-5148

表:GGI(ジェンダー・ギャップ指数)の
世界ランキング(平成年)

順位	国名	値
1	アイスランド	0.881
2	ノルウェー	0.850
3	フィンランド	0.850
4	スウェーデン	0.823
5	アイルランド	0.807
6	ルワンダ	0.794
7	フィリピン	0.790
⋮	⋮	⋮
91	中国	0.682
⋮	⋮	⋮
101	日本	0.670
⋮	⋮	⋮
115	韓国	0.651
⋮	⋮	⋮
145	イエメン	0.484

※経済活動への参画度や教育水準などから算出される。値が1に近づくほど男女格差が少ない。

業のイメージの向上や優秀な人材の確保につながるなどといったメリットがあります。

男女の格差 世界における日本の順位

世界における各国の男女格差を測る指標であるGGI(ジェンダー・ギャップ指数)の日本の順位は、145カ国中101位です。昨年に比べて3つ順位が上昇しましたが、下位に位置しています。

政治分野での女性の割合や女性管理職の割合の低さ

などが、日本の順位に影響していると考えられます。

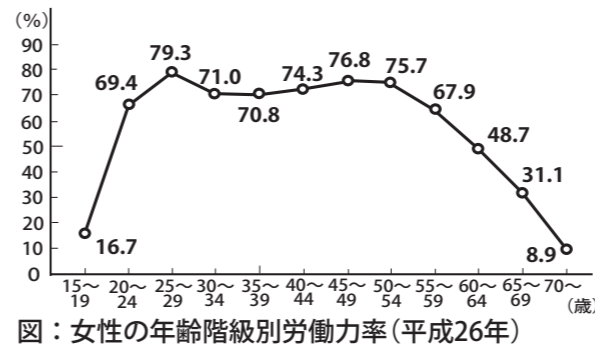
男性の家庭生活への参画

職業生活と家庭生活の両方を営むには、家庭生活においても、男性の十分な分担が得られるようにしなければ、結果として女性が職場において活躍することが困難になります。

男性の家事・育児などの家庭生活への参画の促進は、女性の職業生活における活躍を推進する上で、解決しなければならぬ重要な課題の1つです。

女性活躍推進法が成立しました！

日本の15～64歳までの平成26年女性の就業率は、63.6%と年々増加しています。その一方で、依然として長時間労働を前提とした労働慣行などから、仕事と生活の両立ができずに、就業継続やキャリアアップを諦める女性も多く、約6割の女性が第1子出産を機に離職しています。多くの人が出産や育児期を迎える30代の労働力率(労働力人口)が他と比較して低くなっています(図参照)。育児・介護などを



図：女性の年齢階級別労働力率(平成26年)

理由に働いていないものの、就業を希望している女性は約300万人に上ります。

また、役員や管理職などの指導的地位にある女性の割合は諸外国と比べて低い水準にとどまるなど、働く場面における女性の活躍は不十分と言わざるを得ない現状です。そのため、女性が職業生活で、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備する「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が平成27年8月に制定されました。これにより、労働者301人以上の事業所は、4月1日までに次の事項を行う必要があります。

- ① 自社の女性の活躍状況の把握・課題分析
- ② 行動計画の策定・届出
- ③ 情報公表など

※労働者300人以下の事業所については努力義務

女性活躍推進法は女性だけのための法律？
そうではありません。働

きたいという希望を持ちつつも働いていない女性や職場でステップアップしたいと希望をする女性など、自らの意思によって働き、また働こうとする女性ができる思いを叶えることができる社会になれば、男性の労働負担も軽減し、男女がともに、多様な生き方、働き方を実現することができそうです。

女性活躍推進に関する認定取得(優良企業認定)を目指しましょう

行動計画の策定・届出を行った企業の内、女性の活躍に関する取り組みの実施状況が優良な企業については、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

認定の申請は、都道府県労働局雇用均等室で受け付けています。認定を受けた企業は、厚生労働大臣が定める認定マークを活用することにより、女性の活躍が進んでいる企業として、企



育メン紹介

仕事を頑張る一方で、育児も楽しみながら頑張る男性、育メンにインタビューしてきました。

直江豊さん (古河電気工業株式会社勤務)

仕事と家庭、どちらが大切かと比べるものではなく、どちらも大切。仕事が忙しくて子どもと遊んでやれない時は、正直、葛藤もあります。でもその分、休日は我が子どもといっぱい遊び、妻が一人で過ごす時間を作って気分転換してもらいます。

仕事が忙しく、帰宅するの遅くなってしまふこともあります。帰ったらまずは、眠っている娘たちの顔を触るのが日課です。

子育てで大切にしているのは、食べ物や物を粗末に扱わないこと、始めたことは根気よく続けてみることですね。難しいことがあっても、すぐに逃げ出さないような強い子になって欲しいです。上の娘がスイミングを始めたので、続けられるように一緒に頑張っています。それと、外で元気に育って欲しいので、夏は戦場ヶ原でハイキングをしたり、最近ではみんなでソリ滑りをして遊んだりしています。

妻には感謝の一言。妻が子どもたちを叱り、私がフォローする役目です。たまに「マザーズデー」と称して、我が子どもたちと外に出かけ、妻が一人で過ごす日を作っています。

私の会社では、家族が職場を見学するファミリーデーがあります。「どうちゃんが仕事でがんばってる！」そんな姿を見せることも、家族への愛情を伝えるられるんじゃないかなと思います。責任ある仕事も、家族がいるから頑張れますが、家族との時間ももっと欲しいというのも本音です。



左から豊さん、長女・凛ちゃん、次女・花ちゃん、妻・和加子さんの4人家族